

令和7年度 第3回 焼津市地域公共交通大井川分科会 会議録		開催	日時 令和8年1月21日(水) 14時00分～15時15分
		場所	教育センター大会議室
議題	(1) 前回会議での意見について (2) 課題及び他市でのデマンドタクシーの運行状況について (3) くるりん号の運行改善策について		
出席委員 9名	(公共交通大井川分科会) 会 長 白石 雅治 (焼津市) 委 員 市川 真也 (しずてつジャストライン(株)) 委 員 小泉 明裕 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 委 員 山名 競 (焼津市自治会連合会 大井川東自治会長) 委 員 原川 光世 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川南地区) 委 員 井鍋 眞澄 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川東地区) 委 員 福與 茂 (焼津市民生委員児童委員協議会 大井川西地区) 委 員 八木 幸世 (焼津市社会福祉協議会) 委 員 鈴村 金次 (焼津市自治会連合会 下江留自治会長)		
欠席委員 2名	委 員 曾根 豊 (焼津市自治会連合会 中島自治会長) 委 員 小澤 代輔 (大井川商工会)		
議事内容			
会議の成立	委員総数 11 名の内 9 名が出席している。過半数を超えているため会議は成立する。		
議題	(1) 前回会議での意見について 事務局説明 ・第1回分科会の質問について説明した。 *資料:【説明資料】 P 3～P 4  【質問・説明等】 なし  (2) 課題及び他市でのデマンドタクシーの運行状況について 事務局説明 ・デマンドタクシー実現のための全国的な課題と他市の運行状況を説明した。 *資料:【説明資料】 P 5、資料4、5  【質問・説明等】 なし  (3) くるりん号の運行改善策について 事務局説明 ・大井川地区のデマンドタクシー・自主運行バス・路線バスの収支状況とくるりん号の改善検討案について説明した。 *資料:【説明資料】 P 8～P 9  【質問・説明等】 ○鈴村委員: 補助金額について前年度より 200 万円減と記載しているが、今年度の補助金の総額はいくらなのか。		

	<p>⇒事 務 局：前年度の補助金額は約 910 万円であり、今年は 200 万円減少し、約 710 万円となった。</p> <p>○鈴木委員：焼津市の収支率が低いと感じた。古い資料になるが、人口約 11 万人の滋賀県東近江市の収支率は約 12%、一人当たりの運行負担が 17 円である。他市町のデマンドタクシーの仕組みを調べていただいたが、収支率が良く、運行負担が少ないところと比較すればくるりん号の改善につながるのではないか。</p> <p>⇒事 務 局：今回、他市のデマンドタクシーの仕組みや運行状況や収支を別紙 4、5 のとおりにまとめたが、今後も別の市町のデマンドタクシーを調査し報告していく。</p> <p>⇒会 長：焼津市公共交通会議では中部運輸支局が参加しているため、デマンドタクシーの改善案を聞き取り次回以降報告していく。</p> <p>○八木委員：大井川は面積が大きく、スーパーが 2 店舗しかないため、自動車免許を手放しにくい状況であると思っている。他市町では高齢者が免許返納後に割引制度を実施しているが焼津市は免許返納者に対してはどのような対応をしているのか。</p> <p>⇒事 務 局：焼津市では、免許返納者への割引制度は行っていないが、回数券を利用いただければ、年齢にかかわらず 10 枚の金額で 12 枚分の購入ができて割引となる。第 2 回焼津市地域公共交通会議でも免許返納者へのデマンドタクシー等の利用の周知の意見が出たため、先日焼津警察署を訪問し、自動車免許を返納した方に自主運行バスやデマンドタクシーのパンフレットを渡して公共交通の案内をしてくださるようにご協力をお願いした。</p> <p>○小泉委員：比較的利用が少ない便や土曜日運行をやめてしまう等経費削減につながると思う。また、改善案 1 について便数を半分にしても、コールセンターは通常通りの業務であるため経費は半分にはならない。コールセンターについては 1 時間遅く始めて、1 時間早く終わるやり方も経費削減につながる。また、土曜日の利用者が少ないので、土曜日の運行とコールセンターをやめる方法でも経費削減ができる。平日の利用者が少ない 1 便・9 便を減便する方法も考えられる。近隣のデマンドタクシーと比較しても料金 300 円は安いと感じる。昨年 11 月にタクシー料金を値上げした。利用者の皆様にもご負担していただいても問題ないと感じた。大井川地区は西・南・東の 3 地区であるので、3 地区に分け、茨城県鹿嶋市のように地区を跨いだら料金が上がるやり方もよいと感じた。</p> <p>○井鍋委員：いきなり便数を半分にするのではなく、全体の便数の中で利用が少ないところだけをまずは減らしていく方法がいいのではないのか。下小杉はデマンドタクシーではなく、一色バス停から路線バスに乗ることが多い。また、大井川地区を西・南・東地区の 3 地区に分け、地区を跨いだ</p>
--	--

	<p>利用の場合に運賃が上がる利用方法を検討してもいいと感じた。</p> <p>○福與委員：大井川地区を西・南・東地区の3地区に分け地区を跨いだら料金が上がる利用方法もいいが、運行距離に応じて料金が上がる方法もいいと感じた。</p> <p>⇒事務局：現在の利用状況を分析しながら、ご意見のあった改善策を含め、次回の会議までに資料を作成する。</p> <p>○福與委員：登録後、利用したい曜日は大体日曜日である。土曜日にも利用したが、日曜日の需要が高いと思うので、日曜日の運行も検討したほうがいいのか。</p> <p>⇒事務局：現在くるりん号は平日が18便、土曜日が8便である。平日は病院に通院される方が多い。土曜日は病院が午前中のみで利用者が少ないため、減便している。日曜日はご家族の方に送迎できるため、需要は平日が高いと考え、日曜日は運行していない。</p>
閉会	予定していた議事が終了。